

2010 年度日本気象学会関西支部年会プログラム

日時：2010年6月26日（土）14：00～16：55

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
5階視聴覚スタジオ

<前半>14：00～15：24（発表時間12分）

座長：石岡 圭一（京都大学大学院理学研究科）

1. 日本の多雪時における北半球大気循環場の特徴
*馬淵 未央（京都大学防災研究所）、浮田 甚郎・本田 明治（新潟大学大学院自然科学研究科）
2. 層状性降水雲内における氷晶・雪片の成長と鉛直流の観測的研究
*妻鹿 友昭・山本 真之（京都大学生存圏研究所）、阿保 真・柴田 泰邦（首都大学東京）、
橋口 浩之（京都大学生存圏研究所）、Hubert Luce（Universite du Sud-Toulon Var）、
山本 衛（京都大学生存圏研究所）、山中 大学（海洋研究開発機構）、深尾 昌一郎（福井工業大学）
3. 冬の大陸低気圧と南岸低気圧の構造差
*坂田 俊夫（日本気象協会関西支社）
4. GNU Radio を用いたウィンドプロファイラー用デジタル受信機の開発
*脇阪 洋平・橋口 浩之・山本 衛・山本 真之・森谷 祐介・妻鹿 友昭（京都大学生存圏研究所）
今井 克之（住友電工（株））、足立 アホロ（気象研究所）、柴垣 佳明（大阪電気通信大学）
5. ウィンドプロファイラによる接地境界層周辺の風観測
*東 邦昭（京都大学生存基盤科学研究ユニット）、
古本 淳一・橋口 浩之・津田 敏隆（京都大学生存圏研究所）
6. インドネシアにおける下部対流圏水平風
～ウィンドプロファイラネットワーク観測と全球再解析データの比較～
*田畑 悦和・橋口 浩之・山本 真之・山本 衛（京都大学生存圏研究所）
山中 大学・森 修一（海洋研究開発機構）、Fadli Syamsudin（インドネシア技術評価応用庁）
Timbul Manik（インドネシア航空宇宙庁）
7. 局地観測用9.8-GHz帯気象レーダーによるドップラー速度観測
*池野 伸幸・山本 真之・妻鹿 友昭・橋口 浩之・山本 衛（京都大学生存圏研究所）
中里 真久・田尻 拓也（気象研究所）・深尾 昌一郎（福井工業大学）

<休憩>15：24～15：35

<後半>15：35～16：55（発表時間12分）

座長：瀧 良二（大阪管区気象台）

8. 近年の夏季首都圏における高濃度オゾンの発生と気象要素の関係について
～都市部と内陸部におけるオゾンの由来～
*阿波崎 たかね（京都大学防災研究所）、桐山 悠祐（東京理科大学大学院理学研究科）、
速水 洋（東京理科大学連携大学院・電中研）、三浦 和彦（東京理科大学理学部）

9. 黄砂の実況監視 ―2010年3月21日の事例―
*牧田 広道 (大阪管区气象台)
10. 松山周辺での副振動の特徴 ―2009年11月24日の事例―
*牧田 広道 (大阪管区气象台)
11. 水蒸気移流量の特性について ―2010年4月27日の徳島県南部の大雨―
*亀井 雅章、牧田 広道 (大阪管区气象台)
12. 高知県における浸水被害をもたらさうる豪雨に関する研究
*山田 幸彦 (京都大学理学研究科)、村田 文絵 (高知大学理学部)、
林 泰一 (京都大学防災研究所)
13. 2009年8月9日兵庫県佐用町で発生した大雨について
*小山 芳太・金森 恒雄 (大阪管区气象台)、草開 浩 (気象庁予報部)、瀬古 弘 (気象研究所)
14. 2008年9月5日の大阪府堺市における局地的大雨の発生機構
*岡本 美沙子・家藤 敦章・牧田 弘道・金森 恒雄 (大阪管区气象台)、
朝原 信長 (気象庁観測部)、竹田 智博 (気象庁予報部)、瀬古 弘 (気象研究所)

(*は発表者)

交通：

- ・京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通過して1番出口より東へ約350m。
- ・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
- ・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m

